

堺市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況(全体像)

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率(%)	令和6年度の活用ポイント	未執行額の活用方針
活用額(円)	152,336,913	194,162,791	346,499,704	79.3	堺市は、森林も少なく都市部に位置するため、「木材利用」「普及啓発」を優先的に取り組むこととしている。 そのため、令和6年度も令和5年度同様、学校や図書館、堺市役所21階展望ロビー、公園内の木橋などの公共施設における木造や木質化、木製品の購入等の取組を中心に実施。	市の施設の新築・改築時における木造化・内装木質化等の木材利用に要する経費の財源として活用
譲与額(円)	343,090,000	93,722,000	436,812,000			
基金積立額(円) ※利子収入含む	343,125,432	93,886,523	437,011,955			

堺市では譲与額を一旦、「堺市はなみどり基金」として全額積立てを行っている。

【令和6年度末時点 基金残高】 90,512,251円

■令和6年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業総額(円)			事業内容
		(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税(円)	(B)うち他の財源(円)	
木材利用・普及啓発関係	都市農業交流事業	2,420,000	1,585,100	834,900	フォレストガーデン内に菜園使用者の日除け施設を設置
木材利用・普及啓発関係	都市農業交流事業	2,198,900	2,198,900	0	フォレストガーデン内に施設案内標識及びベンチを設置
木材利用・普及啓発関係	都市農業交流事業	16,500,000	5,300,000	11,200,000	フォレストガーデン内の普及啓発に資する里山保全のための、間伐、伐採、枝打ち
木材利用・普及啓発関係	観光受入環境整備事業	6,996,000	6,996,000	0	堺市役所21階展望ロビーのリニューアルオープンにあたり、カウンターテーブル等を購入
木材利用・普及啓発関係	公立認定こども園運営事業(運営)	1,524,600	1,524,600	0	公立こども園で使用している老朽化した園児用ロッカーの更新

木材利用・普及啓発関係	公園施設管理事業	53,935,588	19,200,000	34,735,588	登美丘北公園内の木橋の補修工事 W=2.0m、L=38.0m、高欄補修L=85.5m ※令和5年度：事業総額28,900,000円(うち森林環境譲与税10,800,000円)
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	5,269,000	5,269,000	0	南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信するために、緑地保全木製看板を設置
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	2,478,119	2,478,119	0	市内唯一の豊かな里山環境が残された南部丘陵を次の世代に伝えていくため、緑地保全を担う人材育成及び里山の価値や資源の活用等に関する普及啓発を目的として、市民や地域、企業、大学等と一緒に保全活動に取り組むプロジェクトを実施
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	288,200	288,200	0	保全緑地の枯損木の撤去
木材利用・普及啓発関係	里山みどりの保全事業	37,926,000	1,996,000	35,930,000	堺自然ふれあいの森による、南部丘陵の緑地保全に関する啓発や人材育成
木材利用・普及啓発関係	区役所庁舎管理事務(中区)	4,180,000	4,180,000	0	中区役所1階市民課記載台、ロビーの椅子、フロアマネージャーのカウンターの更新
木材利用・普及啓発関係	中学校給食施設等整備事業	140,648,772	140,648,772	0	全員喫食制中学校給食の開始に向けて、各中学校での安全な配膳環境を整えるため、生徒用ロッカー及び配膳台を購入
木材利用・普及啓発関係	図書館管理運営事業	2,498,100	2,498,100	0	老朽備品を木製品に更新

事業内容

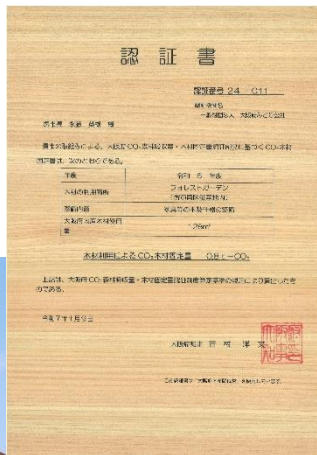
フォレストガーデン市民菜園日陰設置工事

- 堺市南区にある「フォレストガーデン」内の市民菜園エリアに大阪府産材を使用したパーゴラを設置した。

【事業費】2,420,000円（うち譲与税1,585,100円）

【実績】サイズW3600mm×D3000mm
木材使用量1.28m³（大阪府産材・杉）

大阪府CO₂森林吸収量・木材固定量認証制度
において令和7年1月9日に認証を取得



取組の背景

- フォレストガーデン内の市民菜園エリアにて、利用者より農作業中に熱中症にならないよう暑さ対策用の日陰を求められていたことからパーゴラを設置し、休憩スペースの増設を行った。

工夫・留意した点

- 周囲の景観を配慮したデザインのものを採用し、日陰による耕作への影響を配慮した位置にて設置を行った。

取組の効果

- 木製製品を使用することで温かみをもたせ、菜園利用者が集まりやすい場の創出ができた。

基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

事業内容

フォレストガーデン施設案内標識ほか改修工事

- 堺市南区にある「フォレストガーデン」内に大阪府産材を使用した施設案内標識及び市民菜園利用者の休憩用のベンチを設置した。

【事業費】2,198,900円（全額譲与税充当）

【実績】案内標識7か所、ベンチ1台
木材使用量0.52m³（大阪府産材・杉）

大阪府CO2森林吸収量・木材固定量認証制度
において令和7年1月9日に認証を取得



取組の背景

- 「フォレストガーデン」内の木製の施設案内標識やベンチが老朽化していたことから、案内標識7か所及びベンチ1台の建替えを行った。

工夫・留意した点

- 周辺の景観を配慮した色彩とし、長寿命化のための薬剤による保存処理を行っている製品を選んだ。

取組の効果

- 案内標識は以前に比べ、来園者の目につくようになり、様々なご意見をいただいている。ベンチもよく利用されるようになった。

基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

フォレストガーデン指定管理業務

- ・ フォレストガーデンの指定管理業務のうち、里山保全等にかかる樹木管理を行い、市民が身近に自然と関われる場を整備することに森林環境譲与税を活用した。

【事業費】16,500,000円（うち譲与税5,300,000円）

通常の指定管理業務（維持管理等）の範囲外である樹木について学ぶエリアの整備及びワークショップに活用

【実績】園路整備に伴う間伐：525㎡

枯木伐採：3本

竹ご飯づくりなどのワークショップ：4回

□ 取組の背景

- ・ 堺市南区にあるフォレストガーデンを活用し、木育体験等を実施するにあたり、里山保全及び利用者の安全確保のために枝打ち・伐木等を指定管理者にて実施した。

□ 工夫・留意した点

- ・ 木育体験等の実施に向けて、園内に新たな自然を眺めながら学習できる小道の整備や通行等に支障となる樹木を対象とした伐木等を行っている。

□ 取組の効果

- ・ 都市部において里山を感じられる場所の保全及び遊歩道等の整備を行うことで木育について学びの場を提供している。

流しそうめんキットワークショップ 竹ご飯づくりワークショップ



◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

堺市役所21階展望ロビーリニューアル（木製什器の導入）

- 堺市役所21階展望ロビーのリニューアルの際に設置した、カウンターテーブルや椅子など各種什器を国産材を活用して制作。

【事業費】6,996,000円（全額譲与税充当）

【実績】カウンターテーブル3台、カウンターチェア6脚、リビングテーブル5台、チェア20脚、ベンチ4台、テーブル8台

木材使用量1.43m³（東吉野村産・杉ほか）



□ 取組の背景

- 令和7年4月の堺市役所21階展望ロビーリニューアルオープンに合わせて、国産材を使用したテーブルや椅子などの什器を設置した。

□ 工夫・留意した点

- リニューアルする壁や床のコンセプトに合わせた色みの木材を選定。
- 本市の友好都市である奈良県東吉野村産材を使用し、国産材の品質のPRを図った。

□ 取組の効果

- 木製什器の設置により21階展望ロビーを訪れた方の滞在時間が伸び、観光情報にじっくり触れていただけるようになったことで周遊を促すことができている。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

公立こども園 園児用ロッカー更新

- ・ 保育室で使用する園児用ロッカー（7台）を国産材を用いて更新した。

【事業費】1,524,600円（全額譲与税充当）

【実績】6人用ロッカー7台

木材使用量約1.21m³（和歌山県田辺市産材・檜）



□ 取組の背景

- ・ 園児用ロッカーの経年劣化に伴い、国産材を用いて更新した。

□ 工夫・留意した点

- ・ 園児等に危険のないよう角が無いような丸みを帯びた仕様とした。
- ・ 保育室に設置するにあたり、長時間の使用に耐えうる仕様とした。
- ・ 使用する接着剤・塗料等を規格に準拠したものとし、室内空気を汚染する化学物質の発生が無い若しくは少ないものとした。

□ 取組の効果

- ・ 保育室全体が明るくなった。
- ・ 触り心地がよく、木への親しみを感じやすくなった。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

松露橋補修工事

- 登美丘北公園内の木橋の補修工事

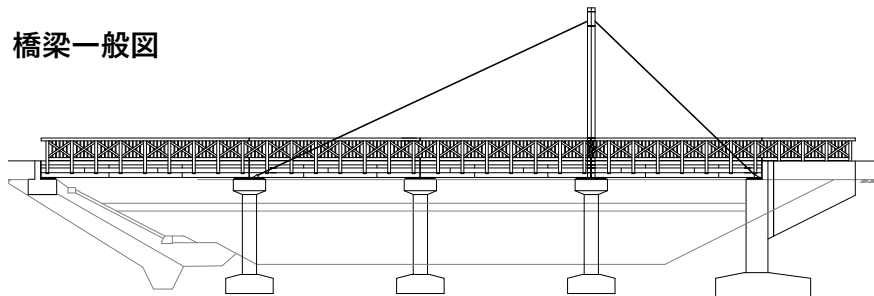
【事業費】82,835,588円（うち譲与税30,000,000円）
（譲与税は木材製の高欄等の補修に要する経費に充当）

【実績】高欄補修L=85.5m
木材使用量約8.79m³（滋賀県産材・杉）

・補修後の写真



・橋梁一般図



□ 取組の背景

- 施設点検において、高欄及び床板の劣化が進行していたため、補修を行うこととした。

□ 工夫・留意した点

- これまでの点検により、床板の腐朽が特に深刻だったことから、床板の補修には、木材の使用を見送ったうえ、材料の耐久性やより木材に近い質感、色合いなどを考慮し、合成木材を選定した。
- 高欄の補修には、従来通り、木材を使用した。

□ 取組の効果

- 主たる補修材料に木材や合成木材を使用することで、補修前と同様に、橋梁の形態意匠を公園内の景観に調和させた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

南部丘陵緑地保全木製看板設置工事

- 南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信するために、堺市南区にあり乗降客数が多く、バスやタクシー等を待つ人などで滞留者が多い泉ヶ丘駅ロータリー部分に緑地保全啓発のための木製看板を設置した。

【事業費】5,269,000円（全額譲与税充当）

【実績】看板サイズ縦2,070mm×横2,000mm
木材使用量約0.32m³（大阪府産材・杉）



□ 取組の背景

- 泉ヶ丘駅から南部丘陵の緑地保全における拠点施設である「堺自然ふれあいの森」行のバスが運行していることから、看板を通して「堺自然ふれあいの森」等の南部丘陵を訪れるきっかけとし、南部丘陵の自然環境や魅力、大切さを体感してもらえるよう設置を行った。

□ 工夫・留意した点

- 駅前を行きかう人の目に留まるよう、盤面については南部丘陵の豊かな自然環境の写真を多く使い、看板については大阪府産の杉を全面に使用し、南部丘陵の特徴的な植生であるシリブカガシのドングリの形の看板に仕上げた。

□ 取組の効果

- 南部丘陵の緑地保全における拠点施設である「堺自然ふれあいの森」への来訪者の増加と、環境教育プログラムや里山保全ボランティア養成講座への参加の増加
- 堺市における、特別緑地保全地区や保全緑地等の緑地保全の取組への理解の促進
- 堺市はなみどり基金における、寄附の増加

◇ 基礎データ

①令和 6 年度譲与額：93,722千円		②私有林人工林面積（※ 1）：76ha	
③林野率（※ 1）：2.6%	④人口（※ 2）：826,161人	⑤林業就業者数（※ 2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

南部丘陵緑地保全プロモーション業務

- 南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性を広く発信するために、緑地の維持管理や活用等及び緑地保全への市民・企業・学生等の参画を促進するためのプロモーション活動である「堺の森活」を実施した。

【事業費】2,478,119円（全額譲与税充当）

【実績】「堺の森活」参加人数117名（市民47名・企業64名・学生6名）

里山管理体験（下草刈り・間伐・玉切り）、里山環境体験（森の中にある落ち葉や木の実などでクラフト）を実施



□ 取組の背景

- 南部丘陵緑地保全について、市民・企業・学生等と連携した普及啓発及び人材育成・担い手確保を目的として実施した。

□ 工夫・留意した点

- 里山管理体験の前に森林機能に関する説明を行い、森林機能や森林価値について普及啓発を行った。
- 緑地保全の新たな担い手育成の一環として、参加者の安全管理を大学生ボランティアが行った。

□ 取組の効果

- 堺市における、特別緑地保全地区や保全緑地等の緑地保全の取組への理解の促進
- 堺市はなみどり基金における、寄附の増加
- 緑地保全の新たな担い手育成

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

保全緑地枯損木撤去業務

- 「堺の森活」実施場所である保全緑地において、枯損木の撤去を行った。

【事業費】288,200円（全額譲与税充当）

【実績】枯損木の撤去（6本）



□ 取組の背景

- 南部丘陵の緑地保全のプロモーション活動である「堺の森活」を安全に実施できるよう枯損木の撤去を行った。

□ 工夫・留意した点

- 萌芽更新が期待できるよう初冬に実施した。

□ 取組の効果

- 間伐による地表面への日照の確保等、里山の保全
- 安全確保による緑地保全の取組の推進

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円	②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

堺自然ふれあいの森 指定管理

- 堺自然ふれあいの森の指定管理業務のうち、南部丘陵の緑地保全に関する啓発や人材育成にかかる費用に森林環境譲与税を活用した。

【事業費】 37,926,000円（うち譲与税1,996,000円）

【実績】 大学生等：17名

堺自然ふれあいの森の指定管理者がインターン生として受け入れている大学生等に対して、里山整備及び環境教育が行えるよう実習（里山の整備作業・植生調査・校外学習対応・一般参加者への里山管理体験の提供等）を行った。



□ 取組の背景

- 豊かな里地里山を次世代に継承していくために、自立して里山保全のための取組を実践していける次世代の担い手の育成が重要であることから、大学生等が将来的に自立した担い手として里山保全に関わることを目的に、指定管理者がインターン生の受け入れを行い、実習を行った。

□ 工夫・留意した点

- 南部丘陵についての理解を深めるための講義や、行政、学識者など様々な立場の人と意見交換ができる機会を設けた。

□ 取組の効果

- 緑地保全の新たな担い手育成

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

木製背付きベンチほかの購入

- 中区役所 1 階待合スペースの椅子、市民課記載台及びフロアマネージャーのカウンターを木製のものに更新した。

【事業費】 4,180,000円（全額譲与税充当）

【実績】 背付きベンチ8脚、アームチェア2脚、記載台1台、
カウンター1台
木材使用量約0.28m³（岐阜県産材・ナラ）



□ 取組の背景

- 中区役所 1 階待合用椅子は、長期使用により老朽化し待合スペースとしての環境が悪化していたため、令和 6 年度に木材を利用したベンチに更新し、快適な環境を整えた。
- 市民課記載台についても、老朽化が激しく更新の必要があった。
- フロアマネージャーのカウンターについては、老朽化に加えサイズが大きすぎて待合スペースを圧迫していた。

□ 工夫・留意した点

- 汚れても簡単に手入れができるよう、座面をビニールレザー貼りとした。
- 記載台は木の質感を活かした温かみを感じられるものとした。
- カウンターはコンパクトなサイズにし待合スペースを圧迫しないようにした。

□ 取組の効果

- 来庁者が待合スペースで快適に過ごしてもらえるようになった。

◇ 基礎データ

①令和 6 年度譲与額：93,722千円		②私有林人工林面積（※ 1）：76ha	
③林野率（※ 1）：2.6%	④人口（※ 2）：826,161人	⑤林業就業者数（※ 2）：4人	

※ 1：「2020農林業センサス」より、※ 2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

中学校給食の実施に向けた生徒用ロッカーの設置

- 生徒が安全に配膳するために通学用カバン等の収納棚を設置

【事業費】111,268,212円（全額譲与税充当）

【実績】10人用816台、8人用765台

木材使用量約19.50m³（大阪府産材・檜ほか）

中学校給食の実施に向けた配膳台の購入

- 給食配膳時に食缶や食器カゴを載せるための移動台を購入

【事業費】29,380,560円（全額譲与税充当）

【実績】配膳台359台

木材使用量約10.68m³（大阪府産材・檜ほか）



生徒用ロッカー



配膳台

□ 取組の背景

- 令和7年度から全ての市立中学校にて全員喫食制給食を開始するために、各中学校の教室環境を整える必要がある。
- 順次、給食配膳に必要な備品を整えるに当たり、木製品を採用した。

□ 工夫・留意した点

- 生徒用ロッカーは、木製天板の木口の角に丸みをつけることで、生徒等が製品の角に衝突して怪我することを防止した。
- 配膳台は、小学校用の製品（天板の高さ60cm）より10cm高いものを選定し、中学生の身長でも配膳しやすいようにした。

□ 取組の効果

- 製品天板に木材を活用することで、重量物の落下等による製品の歪みや凹みを防止することができる。
- 生徒用ロッカーや配膳台に木材を活用することで、学習机や椅子との調和性が向上し、教室全体で木の温もりを感じられる。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

□ 事業内容

木製備品購入

- ・ 堺市南区にある南図書館学習ルームの机・椅子を国産材を用いて更新した。
- ・ 堺市北区にある北図書館で使用するブックトラックを購入した。

【事業費】2,498,100円（全額譲与税充当）

【実績】木製机6台、木製椅子6脚、木製ブックトラック3台
木材使用量約0.62m³（岐阜県産材・ナラ）



学習ルーム



ブックトラック

□ 取組の背景

- ・ 南図書館において、学習ルームの机、椅子が長期使用により消耗が激しく、更新の必要があった。
- ・ 北図書館において、ブックトラックの不足により、返却作業、本の展示などへの活用が課題と感じていた。

□ 工夫・留意した点

- ・ いずれも耐久性が高く質感の良い国産ナラ材を使用することで、長期にわたり活用できる備品とした。
- ・ ブックトラックはコーナーにクッション材を装着し安全対策を行っている。また、棚の高さを調整可能とし、様々な用途に活用できるようにした。

□ 取組の効果

- ・ 温かみのある机、椅子で落ち着いて学習できる環境を整えた。
- ・ 丈夫で見た目もよい木製ブックトラックを返却作業や本の展示に活用することで、利用者サービスが向上した。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：93,722千円		②私有林人工林面積（※1）：76ha	
③林野率（※1）：2.6%	④人口（※2）：826,161人	⑤林業就業者数（※2）：4人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より